

平成28年12月13日

会員各位

公益財団法人日本博物館協会

保存修復に関するワークショップのご案内

先般、大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクトについてのポスターとチラシをお送りさせていただきましたが、東京会場での被災資料の安定化処理技術に関するワークショップについては、下記のとおり開催することとなりましたので、お知らせいたします。参加を希望される方は、事前にお申し込みくださいますよう、お願いいたします。

記

- 事業名： 大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト ワークショップ（東京会場）
開催日： 平成29年2月2日（木）
会場： 東京藝術大学 美術学部 中央棟 第4講義室
プログラム： 9:30 - 9:40 開会式
主催者挨拶
高橋廣至（プロジェクト実行委員会会長）
半田昌之（公益財団法人日本博物館協会専務理事）
共催者挨拶
稲葉政満（東京藝術大学大学院美術研究科教授）
- 講義の部 9:40-10:30 被災文化財の安定化処理における現状と課題
赤沼英男（岩手県立博物館首席専門学芸員）
- 実習の部 10:40-12:10 被災自然史標本の安定化処理
鈴木まほろ（岩手県立博物館専門学芸員）
- 12:10-13:10 昼食・休憩 ポスター見学
13:10-14:40 文書資料の安定化処理について
熊谷 賢（陸前高田市立博物館主任学芸員）
皆上小冬／浅川崇典（陸前高田市立博物館学芸員）
- 14:50-15:50 アクリル画の脱塩 ーブロッティング法による試みー
土屋裕子（東京国立博物館 学芸研究部保存修復課保存修復室長）
- まとめ 15:50-16:25 質疑応答・総括
神庭信幸（東京国立博物館特任研究員）
- 16:25-16:30 閉会のことば
半田昌之（公益財団法人日本博物館協会専務理事）
- 定員： 30名（この他に10名まで傍聴可）
参加費： 無料
申込み方法： 平成29年1月25日（水）までに、FAXまたはEメールにて、お申し込みください。「東京ワークショップ参加希望」として、①所属館園名、②氏名、③連絡先電話番号、④Eメールアドレスをお書きください。
※希望者多数の場合は先着順とさせていただきます。
＜申込み・お問合せ先＞ 日本博物館協会「東京ワークショップ係」
電話：03-5832-9108 / FAX:03-5832-9109 / Eメール： webmaster@j-muse.or.jp